

令和5年度第1回国立保健医療科学院研究倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和5年11月7日（火）10:00～11:20
2. 場所 国立保健医療科学院 第一会議室（4階）
3. 出席者 [委員]

保健・医療分野及び自然科学面の研究者	吉田委員
人文社会科学及び倫理法律分野の有識者	羽瀨委員
市民の立場	山崎委員
本院職員	福田英輝委員長
〃	牛山副委員長
〃	湯川委員
〃	田野委員
〃	茂木委員
〃	山本委員
〃	小林委員
〃	森山委員
〃	志村委員
〃	山口委員
〃	阪東委員
〃	三浦委員
〃	松田委員
	計16名

4. 議題
申請事案審議（1件）

5. 議事要旨
(1) 申請事案

申請者：生涯健康研究部 主任研究官 吹田 晋

議題名：小規模事業場の従業員のメンタルヘルスに関する援助要請を促す健康教育媒体の効果検証

- ① 吹田先生より申請についての概要説明、研究計画の説明があった。
- ② 事前審査担当委員（牛山副委員長、田野委員）より本審査となったポイントの説明が述べられた。（当該研究は、対象者を無作為に2群に割りつけて健康教育の異なる手法を適用するため、介入研究と解釈され、本審査になると判断した。また、研究内容がメンタルヘルスに関することのため、精神的な軽微な侵襲も一部あり得るといふ指摘あり。）
- ③ 委員長及び各委員より研究内容についての質疑応答がされた。
主に以下の意見が出された。
 - 研究計画書の取り扱う情報の種類について、調査会社が対照表を所有するので、仮名加工情報に☑を入れること。
 - 資料1について、研究参加者が、本研究に参加したことにより体調の不調が生じた場合において、地域産業保健センターを紹介する等の対応とするよう修正すること。
 - 資料1について、対象者となる方として除外する基準を追記すること。

審議の結果、上記指摘事項を修正し再提出することを条件とし、承認となった。

以上

(照会先)

国立保健医療科学院総務部研修・業務課

電話048-458-6111 (内線) 2161